



————— HEADLINE —————

- ◆医薬関連:カネカが医薬品 GMP 準拠の連続生産設備の本格稼働を発表
(7月23日)
- ◆接着剤:積水フーラーと長瀬産業が塗工可能な高伸縮性ホットメルト材料を開発(7月19日)
- ◆自動車部品:旭化成が米国 Sage Automotive Interiors, Inc.を買収
(7月19日)
- ◆エンジニアリング:東洋エンジニアリングがタイでオレフィンプラント拡張プロジェクトを受注(7月19日)
- ◆インク:花王がVOCレス設計の新規ポリエステル系水性インクジェット用顔料インクで紫外線硬化型インクと同等の画像耐久性を実現(7月18日)
- ◆暑さ対策:積水樹脂とパナソニックが暑さ対策システムの共同開発に合意
(7月17日)
- ◆産学連携:ダイセルが金沢大学と包括連携協定を締結
(7月17日)
- ◆3Dプリンタ:BASFが3Dプリント材料メーカー2社を買収
(7月17日)
- ◆石油化学:クラレがタイでブタジエン誘導品の製造、販売を事業とする合弁会社を設立(7月17日)
- ◆価格改定
 - ・昭和電工がエマルジョン、合成樹脂溶液、合成樹脂水溶液を8月1日出荷分より値上げ
 - ・日本軽金属が次亜塩素酸ナトリウムを8月1日出荷分より値上げ
 - ・出光興産がメチルエチルケトン(MEK)を8月20日出荷分より値上げ



◆海外市場調査の Web サイト『グローバルマーケティングラボ』もご覧ください。

<http://www.global-marketing-labo.jp>

近年のマーケティングの対象は国内市場中心からグローバル市場へと広がっております。

弊社では、グローバル市場においても足で稼ぐ生きた情報を収集すべく、充実した社内体制と外部ネットワークを構築し、多数の海外調査を実施しております。

『グローバルマーケティングラボ』では、工業市場研究所の海外調査のメニューの紹介や調査実績、各国情勢コラムを掲載しております。調査実績、海外情勢コラムは随時、更新を行っておりますので、是非、ご覧ください。

海外市場調査にご興味のある方は、TEL:03-6459-0165 又は
<http://www.global-marketing-labo.jp/contact/> までご連絡下さい。

WEEKLY NEWS

◆医薬関連:カネカが医薬品 GMP 準拠の連続生産設備の本格稼働を発表
(7月23日)

カネカは、カネカシンガポールにおいて、低分子医薬品分野における原薬・中間体製造用途の連続生産設備を導入し、本年6月より医薬品 GMP 準拠での商業生産を開始したと発表した。

今回導入した連続生産設備では、配管中に原材料を流しながら連続的に逐次反応させることで、過酷な条件を要する反応も安全・簡便に実施できる。また、この設備は、配管の長さや太さを自由に選択できる独自設計で、きめ細かな条件最適化により、反応効率を最大化することが期待できる。

設備を導入したカネカシンガポールは、2017年に米国 FDA より製造業者として認証を得ており、幅広い低分子医薬品を医薬品 GMP 準拠で生産することが可能としている。

◆接着剤:積水フーラーと長瀬産業が塗工可能な高伸縮性ホットメルト材料を開発(7月19日)

積水フーラー(積水化学工業と H. B. Fuller Company の合弁会社)と長瀬産業は、共同で、汎用アプリケーションで塗工可能で、かつ高い伸縮性を有するホットメルト材料「ストレッチメルト(Stretch Melt)」を日本で初めて開発したと発表した。

2019年初めから量産および発売を開始する予定としており、塗工可能・高伸縮性という特長を活かし、衣料分野、紙おむつやマスクなど衛生材料分野、その

他の産業分野などに展開する予定としている。

◆自動車部品：旭化成が米国 Sage Automotive Interiors, Inc.を買収
(7月19日)

旭化成は、米国の自動車内装材メーカーである Sage Automotive Interiors, Inc. (以下「Sage(セージ)社」)を現金約700百万米ドル(約791億円)で買収することを決定したと発表した。

旭化成はスエード調人工皮革を Sage 社に販売している。Sage 社は自動車内装材に用いる各種繊維製品の開発・製造・販売を手掛けている。

旭化成は自動車分野向け事業の拡大を加速させるために Sage 社の事業を取り込むことを検討してきたが、昨年10月より両社で協議を始め、本買収の合意に至った。

なお、本取得価額に Sage 社の純有利子負債を加えて算出した買収価格は1,060百万米ドルとしている。

◆エンジニアリング：東洋エンジニアリングがタイでオレフィンプラント拡張プロジェクトを受注(7月19日)

東洋エンジニアリング(TOYO)は、タイ SCG ケミカルと米国ダウ・ケミカルの合弁会社であるマプタプット・オレフィンによるオレフィン増産プロジェクトの設計・調達サービスを受注したと発表した。

このプロジェクトは、既存プラントのオレフィン生産量を現在の年産170万トン(エチレン同90万トン、プロピレン同80万トン)から35万トン増産するものである。TOYOは主力商品であるエチレンプロジェクトのビジネス拡大に注力しており、本プロジェクトは、現在遂行している米国、マレーシア、トルクメニスタンに続く46基目のエチレンプラントとなる。

新設するプラントはタイ、ラヨン州マプタプットの既存プラントの隣接地に建設され、2021年の完成予定としている。

◆インク：花王がVOCレス設計の新規ポリエステル系水性インクジェット用顔料インクで紫外線硬化型インクと同等の画像耐久性を実現(7月18日)

花王のテクノケミカル研究所は、VOCレス設計の高耐久新規ポリエステル系水性インクジェット用顔料インクを開発したことを発表した。

この新規インクは、VOC(揮発性有機化合物)レス設計で、印刷工程で排出されるVOC量を抑制することで、印刷作業環境を改善すると共に、地球環境への負荷を低減する。また、同社独自の「顔料ナノ分散技術」(顔料をナノサイズで分散安定化する技術)を応用し、紫外線硬化型インク同等の耐候性、耐アルコ

ール性、耐傷性などの優れた画像耐久性を実現するため、オーバーコート処理が不要という特徴を持つ。フィルム印刷をはじめサイネージなど、さまざまな産業印刷用途に展開が可能としている。

◆暑さ対策：積水樹脂とパナソニックが暑さ対策システムの共同開発に合意（7月17日）

積水樹脂とパナソニックは、夏季の屋外暑熱対策システムの共同開発について合意したことを発表した。

具体的には、積水樹脂が強みを持つシェルター技術と、パナソニックが強みを持つ屋外にクールスポットを形成する技術を基に、より高い冷却・暑熱対策効果を発揮する暑さ対策システムを共同で開発する。

都市部においては、太陽からの日射、地表面からの赤外放射、建物壁面からの関外放射の3要因によって人の体感温度が決まるため、日よけと壁面緑化を組み合わせるなど複合的な対策が必要となる。そこで、積水樹脂の輻射熱を抑え日射をさえぎる人工木ルーバー、水分に長年晒されても影響を受けない高耐食塗装を用いた日よけパーゴラと、パナソニックの「グリーンエアコン」に搭載されている極微細ミスト「シルキーファインミスト」による気化冷却技術、およびトルネード型「エアカーテン送風」による冷却空間保持技術とを組み合わせ、遮光しながらミストによる冷却を行うことで、より高い冷却、暑熱効果を実現するシステムを共同で開発する。

今後両社は共同で設計開発を行い、来春を目途に製品化し、両社の販売ルートを通じて販売する予定としている。

◆産学連携：ダイセルが金沢大学と包括連携協定を締結（7月17日）

ダイセルは、金沢大学と包括連携協定を締結すると発表した。

同社と金沢大学は、セルロース分野を中心に、長らく共同研究開発や人材交流などを行ってきた。

本協定は、社会に貢献する学術研究の推進と優秀な技術者の育成を主目的としており、本年10月より連携講座を金沢大学に設置する予定である。具体的な共同研究テーマとして、セルロース系の脱ヒ素浄化材の開発を進めているほか、バイオマス由来の脱石油系合成プラスチックの製造を目指し、基礎研究に取り組んでいるとしている。

◆3Dプリンタ：BASFが3Dプリント材料メーカー2社を買収（7月17日）

BASFは、3Dプリント用材料メーカー2社を買収したことを発表した。

買収したのは、ドイツのハンブルクに拠点を置くAdvanc3D Materialsとフラン

スのリヨンにある Setup Performance の 2 社である。

Advanc3D Materials は、粉末焼結積層造形法 (SLS) 用の高性能プラスチック粉末およびフォーミュレーションを販売しており、Setup Performance は、レーザー焼結用製品の開発、製造を行っている。BASF 傘下の BASF New Business (BNB) が両社の全株式を取得し、両社は BASF 3D Printing Solutions に統合される。

BASF は 2017 年に 3D プリンタ用フィラメントメーカー「Innofil3D」を買収しており、産業用 3D プリント向けの粉末ベースの材料およびフォーミュレーションのリーディングサプライヤーになるという目標に向け、買収計画を進めているとしている。

◆石油化学:クラレがタイでブタジエン誘導品の製造、販売を事業とする合弁会社を設立(7月17日)

クラレは、PTT Global Chemical Public Company Ltd.(以下「GC」)、住友商事との共同出資により、6月19日に、タイにおけるブタジエン誘導品の製造、販売を事業とする合弁会社 Kuraray GC Advanced Materials 社(資本金:10百万タイバーツ)を設立したと発表した。

Kuraray GC Advanced Materials 社は、タイのラヨン県の石油化学コンプレックス内の工業団地を候補地に、高耐熱性ポリアミド樹脂 PA9T、水素添加スチレン系熱可塑性エラストマーの製造販売を行う予定としている。

◆価格改定

- ・昭和電工がエマルジョン、合成樹脂溶液、合成樹脂水溶液を8月1日出荷分より値上げ
値上げ幅は、15%以上
- ・日本軽金属が次亜塩素酸ナトリウムを8月1日出荷分より値上げ
値上げ幅は、6円/kg以上
- ・出光興産がメチルエチルケトン(MEK)を8月20日出荷分より値上げ
値上げ幅は、20円/kg以上



株式会社 工業市場研究所

TEL:03-6459-0165 FAX:03-5408-1584

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-6-10 マストライフ西新橋ビル

<http://www.kohken-net.co.jp>

◆メールの設定により、読み難くなる場合がございます。ご容赦ください。

◆配信停止・ご意見・お問い合わせはこちらへ h-ikeda@kohken-net.co.jp

